

むくろじの会について

「むくろじの会」はMENの患者と家族、医療関係者等をメンバーとして、病気について、正しい知識を得ること、互いに励ましあって前向きに生活できるようにすること、また、病気を克服できるよう社会に働きかける事を目的にしています。



「患者と家族の会」について

むくろじの会は平成21年10月1日に発足しました。MENは患者数が少ないため、情報があまりない状況です。また、遺伝性であることから、自分自身だけでなく、兄弟姉妹や子供のことに心配や不安など悩みをひとりで抱え込んでしまうこともあるかと思えます。そのような思いを打ち明ける場所もなく、先行きの不安を抱え精神的にも辛い思いをしているのが現状でした。そこで、私達はMENについて正しく学び、お互いの思いを分かち合い、前向きに生きていくために患者と家族の会を立ち上げました。

むくろじの会の名前の由来

「むくろじ」とは山地に生える落葉高木で、漢字では「無患子」と書きます。「患わ無い」(わずらいがない)という字がとてもしいということで、名づけられました。むくろじの実には羽根つき遊びの羽根の重りに使われたことから、ロゴマークにデザインしています。

ホームページ



<http://men-net.org/mukuroji/>

むくろじの会

会の活動内容

- 年に4回のニュースレター「むくろじ」の発行
- 4月に行う総会・勉強会・懇親会
- ホームページによる掲示板での情報交換
- シンポジウムへの参加
- 不定期のレクリエーション

お問い合わせ



〒514-1111 三重県津市久居桜が丘町1711-82

電話/fax : 059-255-7021

E-mail : mukurojinokai@gmail.com

(担当 : 殿林)

多発性内分泌腫瘍症

MENって どんな病気?



MEN (多発性内分泌腫瘍症) について

多発性内分泌腫瘍症 (Multiple Endocrine Neoplasia: MENと略し、エムイーエヌと読みます) は主に内分泌臓器 (ホルモンを作る臓器) が冒される病気です。

内分泌臓器はホルモンを作り、血液中にこれを放出 (分泌) するという特徴を持っています。ホルモンは血液中を運ばれ、身体のさまざまな器官の働きを調節する重要な役割を担っています。正常な状態ではホルモンの合成と分泌は身体の状態によって巧みに調節されています。

MENの人では内分泌臓器に機能亢進 (ホルモンを過剰に作る状態) がおきたり、腫瘍ができてしまいます。

一つだけの内分泌臓器にこうした異常がみられる人の多くはMENとは関係ありませんが、MENでは時期を別にして複数の異常があらわれてくることが多いので、特に若い人に病気があらわれた時は、それがMENに関係したものでないか調べる必要があります。

MENの臨床像

どのような病気があらわれるのですか？

MEN1

《主な病気》

- ① 下垂体腺腫
- ② 副甲状腺機能亢進症
- ③ 膵消化管内分泌腫瘍

《その他の病気》

- ④ 胸腺・気管支腫瘍
- ⑤ 副腎皮質腫瘍
- ⑥ 皮膚腫瘍

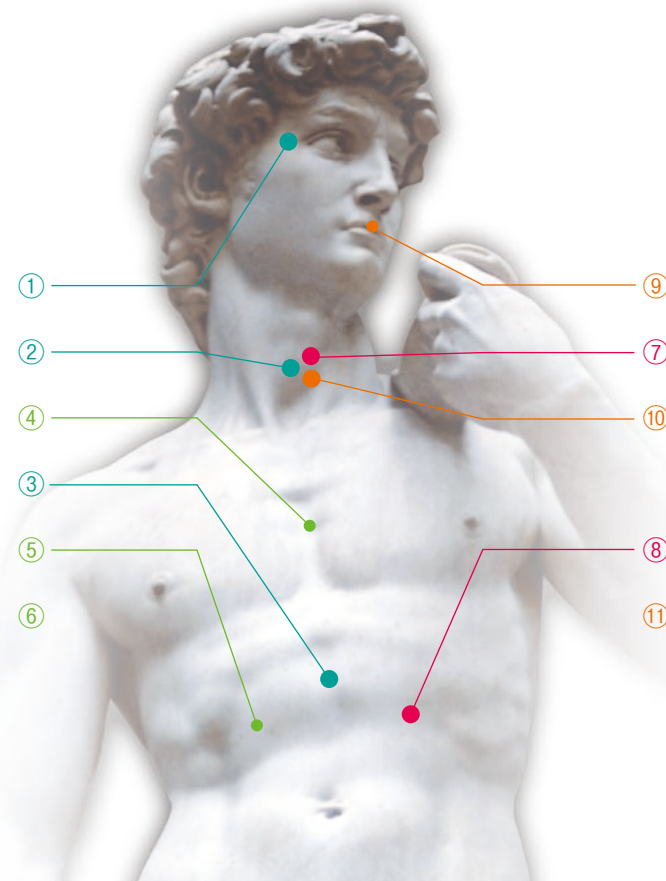
MEN2

《主な病気》

- ⑦ 甲状腺髄様癌
- ⑧ 褐色細胞腫

《その他の病気》

- ⑨ 粘膜神経腫 (MEN2B)
- ⑩ 副甲状腺機能亢進症 (MEN2A)
- ⑪ マルフアン様体型 (MEN2B)



MENはその臨床像からMEN1型とMEN2型にわかれており、さらにMEN2型はMEN2A、MEN2B、家族性甲状腺髄様癌 (FMTC) の3タイプに分けられます。

MEN1とはどのような病気ですか？

MEN1の人で病気があらわれやすいのは、副甲状腺 (ほぼ100%)、膵臓 (約60%)、脳下垂体 (約50%) などです。

胸腺腫瘍は5%程度と頻度は低いですが、悪性のことが多いので注意が必要です。MEN1の頻度はおよそ人口10万人あたり3人程度と考えられています。この病気の発生頻度に男女差はありません。

MEN2とはどのような病気ですか？

MEN2の人では、ほぼ全員に甲状腺髄様癌があらわれます。それ以外の病気についてはタイプによって異なります。

MEN2の頻度は、およそ人口10万人あたり3人程度と考えられています。この病気の発生頻度に男女差はありません。

MEN2A

MEN2の中でもっともよく見られるタイプです。甲状腺髄様癌 (甲状腺がん) がほぼ全例にみられ、副腎の褐色細胞腫も約60%の人が発症し、そのうちの約半数では両側にみられます。また約10%の人では副甲状腺機能亢進症も発症します。

MEN2B

甲状腺髄様癌や褐色細胞腫を発症する点はMEN2Aと同様ですが、副甲状腺機能亢進症はみられません。このタイプでは舌や口唇に粘膜下神経腫とよばれる小さな隆起が多発します。またやせ型で手足の長い体型になることが多いといわれています。

FMTC

このタイプは甲状腺髄様癌が家族に多発しますが、それ以外の病気はみられません。FMTCとは家族性甲状腺髄様癌 Familial Medullary Thyroid Carcinoma の頭文字をとったものです。患者数の少ない小さな家系ではMEN2Aとの区別は困難です。